

施策評価シート

施策

8

確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

主管部長(課) 教育委員会事務局次長(指導室)
 関係部長(課) 教育委員会事務局次長(庶務課、
 学校施設課、学務課、学校支援課、
 教育センター)
 教育推進担当部長

1 施策が目指す江東区の姿

学校教育の充実が図られ、確かな学力・思いやりの心・健康な身体が育まれています。

2 施策を実現するための取り組み

学習内容の充実	学力強化講師の配置や補習教室の実施など、基礎学力の向上を図るとともに、外国人講師の活用やコンピューター教育の推進など特色ある授業内容の充実に努めます。
思いやりの心の育成	児童・生徒の発達段階に応じた人間関係づくりの指導を行うとともに、キャリア体験 ボランティア活動などさまざまな体験学習や各種行事を通じて、社会や他者を共感的に理解できる気持ちを育みます。
健康・体力の増進	体育授業の充実や部活動の活性化などにより、継続的な運動習慣を身につけることができるようにします。また、食育等の健康教育の推進により、児童・生徒の生活習慣の改善と健康増進を図ります。
教員の資質・能力の向上	効果的な指導方法の習得やコミュニケーション能力の向上を図るため、各教科の指導法や教育相談 人権教育、問題行動の未然防止等の研修を指導室・教育センターが中心となって実施します。

3 - 1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)																									
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度の教育基本法の改正により、知・徳・体の調和が取れ、自己実現を目指す自立した人間を育成することなどが目標としてあげられた。 平成20年3月には学習指導要領の改訂が行われ、子どもたちに生きる力を育てるとともに、思考力や判断力・表現力などを育てることが求められている。 江東区では、知性ととも、感性・道徳心や体力を育むための各種の教育施策を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 団塊世代の教員の大量退職等によって、若手教員の割合が一層増えることが見込まれる。多様化する教育課題に対応しきれない状況が生まれる可能性がある。 <p>新規採用教員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>幼</th> <th>小</th> <th>中</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>8名</td> <td>58名</td> <td>20名</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>13名</td> <td>75名</td> <td>23名</td> <td>111名</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>3名</td> <td>82名</td> <td>35名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1名</td> <td>72名</td> <td>27名</td> <td>100名</td> </tr> </tbody> </table>		幼	小	中	計	平成19年度	8名	58名	20名	86名	平成20年度	13名	75名	23名	111名	平成21年度	3名	82名	35名	120名	平成22年度	1名	72名	27名	100名
	幼	小	中	計																						
平成19年度	8名	58名	20名	86名																						
平成20年度	13名	75名	23名	111名																						
平成21年度	3名	82名	35名	120名																						
平成22年度	1名	72名	27名	100名																						

3 - 2 施策に関する区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> 区民や学校現場からのニーズが増している施策の内容であるが、区民の意識においては、現在の学校教育の環境は、以前と比べて悪くなっていると認識されている。 保護者の姿も様々で、学校選択制の実施により、積極的に学校を選ぶ一方で保護者会やPTA行事などに協力しない方がいけば、ボランティアやゲストティーチャー等の形で学校にかかわる協力的な方もいる。また、教員の指導方法や校長の経営方針に理不尽な意見をされたり、意に沿わない教員に対して厳しい謝辞をされる方もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内の大学や教育機関等との連携をさらに推進し、教育内容を一層充実させることが求められる。 団塊の世代の大量退職により、経験の浅い教員が増えることにより、地域や保護者の学校・幼稚園への信頼が構築されなくなる。 研修の不十分な教員が増えることにより、日々の教育活動が充実せず、子どもの学力向上や豊かな心の醸成などができにくくなる。

4 施策実現に関する指標

指標	単位	現状値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値	指標担当課
		21年度					26年度		
31 全国学力調査で全国平均を100としたときの区の数値(小学校)		104.0						106	指導室
		96.6						100	指導室
32 地域活動 ボランティア活動 キャリア体験学習に参加した児童・生徒の割合	%	—						100	指導室
33 体力診断テストで全国平均を100としたときの区の数値(小学校)		98.8 (20年度)						100	指導室
		91.7 (20年度)						100	指導室
34 教職員研修、研究会への1人当たりの年間平均参加回数	回	—						12	指導室

施策評価シート

5 施策における主要事業等		所管課	H21事業費予算	H21事業費決算 (速報値)	H22事業費予算	H23事業費予算
1	確かな学力強化事業	学校支援課	104,078千円	91,852千円	109,042千円	
2	中学生海外短期留学事業	指導室	27,525千円	1,061千円	24,323千円	
3	小学校体力調査事業	指導室	3,242千円	2,116千円	3,591千円	
4	中学校体力調査事業	指導室	1,407千円	829千円	1,397千円	
5						

6 施策コストの状況					
	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算	
トータルコスト	9,020,670千円	9,424,782千円	8,896,534千円		
事業費	5,000,377千円	5,805,154千円	5,008,897千円		
人件費	4,020,293千円	3,619,628千円	3,887,637千円		

7 一次評価 主管部長による評価	
(1) 施策における現状と課題	
<p>平成18年度以降の様々な学力強化講師等の人的配置に係る施策実施の結果、学習環境が整いつつある。また、中学生海外短期留学事業は、国際理解教育に関する本区の積極的な取組のひとつとして区民にも認識されており、今後も継続すべきと考える。体力調査の結果をみると(指標33)21年度、小学校98.0 中学校95.2)、小中学生とも全国平均に届かない状況が続いている。家庭環境や子どもの遊びの変化により、外遊びが減ったり一人遊びが増えるなどの状況があるが、健全育成の点からも早急な改善策を展開することが必要であると考えます。</p>	
(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性	
<p>子ども一人一人のニーズに対応するために、適切な研修を通して教員の資質・能力を向上させることを課題として取り組む。子どもたちの生きる力をバランスよく育てるために、様々な事業を精力的に実施する。教育を、幼稚園から中学校までの11年間で捉え、積み重ねを大切にされた教育活動を展開する。平成22年度から、小中学校のすべての子どもを対象とした体力調査の実施、体力向上推進校の指定など、体力向上に関する施策を重点的に展開していく。</p>	

8 外部評価委員会による評価	
<p></p>	

9 二次評価 区の最終評価	
<p></p>	

主要事業等説明シート

施策	8	
事業名	確かな学力強化事業	(主要) ・ その他

所管課名	教育委員会事務局 学校支援課				
事業内容	区内小学校4年生及び中学校1年生の全学級及び2、3年生で希望がある学級において、小学校では主に算数 中学校では学力強化を図る必要のある教科に学力強化講師を配置している。				
事業の目的・効果	少人数指導等のきめ細やかな指導を実施し、学力の向上を図る。				
事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)	
31	全国学力調査で全国平均を100としたときの 区の数値(小学校)		104	106	
	全国学力調査で全国平均を100としたときの 区の数値(中学校)		96.6	100	

事業の活動量とコスト								
活動量			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算	
	学力強化講師配置学級数 (小学校)	学級		99	98	105		
		内訳等		配置時間数(1学級) 【小4】 (全学級)5H×37週	配置時間数(1学級) 【小4】 (全学級)5H×37週	配置時間数(1学級) 【小4】 (全学級)5H×37週		
学力強化講師配置学級数 (中学校)	学級		85	87	92			
	内訳等		配置時間数(1学級) 【中1】(全学級)4H×37週 【中2,3】 (15学級)5教科×3H×37週	配置時間数(1学級) 【中1】(全学級)4H×37週 【中2,3】 (15学級)5教科×3H×37週	配置時間数(1学級) 【中1】(全学級)4H×37週 【中2,3】 (15学級)5教科×3H×37週			
事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算	
	事業費(A)		千円	104,078	91,852	109,042		
	財源	国・都補助金等(a)	千円	4,804	3,903	4,071		
		利用者負担(b)	千円	0	0	0		
		一般財源(A - a - b)	千円	99,274	87,949	104,971		
	人件費(B)		千円	4,758	4,483	4,682		
	内訳	常勤	人	0.5	0.5	0.5		
			千円	4,371	4,124	4,310		
再任用		人	0.1	0.1	0.1			
		千円	388	360	372			
再雇用	人	0.0	0.0	0.0				
	千円	0	0	0				
トータルコスト(A+B)		千円	108,836	96,335	113,724			

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
学力強化講師賃金	102,172		

事業の 現状と課題	区独自の学力強化講師を派遣することにより、少人数授業等の実施が可能となっている。
今後の 方向性	少人数授業等に対しては、区民や学校現場のニーズは高く、学力の向上策として、事業の充実を図っていく。

主要事業等説明シート

施策	8	
事業名	中学生海外短期留学事業	主要・その他

所管課名	教育委員会事務局 指導室				
事業内容	中学生を海外(カナダ)へ短期留学させ、ホームステイを通じて外国人の家庭生活を体験させる。				
事業の目的・効果	海外の自然・文化・風俗・習慣等を学ぶとともに、日本の様子を紹介し国際親善を深め、国際感覚を身につけた中学生の育成を図る。あわせて、学んだことを学校や地域社会での国際理解教育に役立てる。				
事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)	

事業の活動量とコスト							
活動量			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算
	参加人数(中学校3年)		人	39	30	39	
		内訳等			*海外ではなく、国内にて国際理解研修を実施した。		
			園				
		内訳等					
			園				
		内訳等					
			園				
		内訳等					
	事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算
事業費(A)		千円	27,525	1,061	24,323		
財源		国・都補助金等(a)	千円	0	0	0	
		利用者負担(b)	千円	975	0	975	
		一般財源(A - a - b)	千円	26,550	1,061	23,348	
人件費(B)		千円	4,371	4,124	3,448		
内訳		常勤	人	0.5	0.5	0.4	
			千円	4,371	4,124	3,448	
		再任用	人	0	0	0	
			千円	0	0	0	
	再雇用		人	0	0.0	0.0	
千円	0	0	0				
トータルコスト(A + B)		千円	31,896	5,185	27,771		

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
業者委託費用	22,633		

事業の 現状と課題	<p>平成21年度は新型コロナウイルス流行の関係でやむなく中止としたが、例年この事業に対する生徒や区民の関心は高い。留学した生徒たちには貴重な経験となっているだけでなく、その内容を文化祭などで発表することにより、他の生徒への国際理解に関する意識を高めることにも効果を発揮している。</p>
今後の 方向性	<p>継続実施</p>

主要事業等説明シート

施策	8		
事業名	小学校体力調査事業		主要・その他

所管課名	教育委員会事務局指導室			
事業内容	スポーツテストの結果集計及び分析による体育指導法及び体力向上策の研究			
事業の目的・効果	体力調査を行うことで、体育の授業を通じて基礎体力の向上を図る。			
事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)
	33 体力診断テストで全国平均を100としたときの区の数値(小学校)		98.0	100

事業の活動量とコスト							
活動量			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算
		参加児童数 (小学校1～6年)	人	16,250	16,794	18,000	
			内訳等				
			園				
			内訳等				
		園					
		内訳等					
		園					
		内訳等					
事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算
	事業費(A)		千円	3,242	2,116	3,591	
	財源	国・都補助金等(a)	千円	0	0	0	
		利用者負担(b)	千円	0	0	0	
		一般財源(A - a - b)	千円	3,242	2,116	3,591	
	人件費(B)		千円	874	825	2,586	
	内訳	常勤	人	0.1	0.1	0.3	
			千円	874	825	2,586	
		再任用	人	0	0	0	
		再任用	千円	0	0	0	
再雇用		人	0	0.0	0.0		
再雇用	千円	0	0	0			
トータルコスト(A+B)		千円	4,116	2,941	6,177		

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
スポーツテスト集計分析委託	3,591		

事業の 現状と課題	全小学校で体力調査を実施しているが、学校により、学年ごとの実施内容が若干異なっている。できるだけ多くの児童に多くの種目の調査を受けさせることが課題である。
今後の 方向性	継続実施 全校全児童に全ての種目を受けさせることをめざす。

主要事業等説明シート

施策	8	
事業名	中学校体力調査事業	主要・その他

所管課名	教育委員会事務局指導室				
事業内容	スポーツテストの結果集計及び分析による体育指導法及び体力向上策の研究				
事業の目的・効果	体力調査を行うことで、体育の授業を通じて基礎体力の向上を図る。				
事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)	
33	体力診断テストで全国平均を100としたときの区の数値(中学校)		95.2	100	

事業の活動量とコスト							
活動量			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算
		参加生徒数 (中学校1～3年)	人	7,050	6,577	7,000	
			内訳等				
			内訳等				
			内訳等				
事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算
	事業費(A)		千円	1,407	829	1,397	
	財源	国・都補助金等(a)	千円	0		0	
		利用者負担(b)	千円	0		0	
		一般財源(A - a - b)	千円	1,407	829	1,397	
	人件費(B)		千円	874	825	2,586	
	内訳	常勤	人	0.1	0.1	0.3	
			千円	874	825	2,586	
		再任用	人				
		千円	0	0	0		
再雇用		人		0.0	0.0		
		千円	0	0	0		
トータルコスト(A+B)		千円	2,281	1,654	3,983		

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
スポーツテスト集計分析委託	1,397		

事業の 現状と課題	全中学校で体力調査を実施している。現在は春に実施しており、その結果を体育などの指導に生かしている。
今後の 方向性	継続実施 実施時期については検討していく。